

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	子どもたちのできたあー！があふれるスバコ 小さな一歩を応援する居場所
2 事業期間	2025年7月 ～ 2026年1月
3 事業内容	具体的な内容（いつどこで何を実施したか等） ・外国語&多文化交流（校内学習） 日時：7月28日（月）、8月25日（月）、9月24日（水）、10月27日（月） 場所：こどものスバコ 対象：スバコキッズ ・スバコで遠足（校外学習） 日時：8月13日（水）9時～16日 場所：南城美術館・コストコ南城倉庫店・スバコ（ワークシート） 対象：スバコキッズ（石嶺小・城東小17名 ボランティア4名 保護者2名） 日時：10月15日（土）9時～17時 場所：21世紀の森体育館（名護）・防災研修センター（名護）・スバコ（ワークシート） 対象：スバコキッズ（石嶺小・城東小20名・ボランティア9名） 日時：1月24日（土）10時～12時 場所：エナジックボウル サザン 内容：ボーリング大会 対象：スバコキッズ（石嶺小・石嶺中8名（予定人数13人）） ・地域交流 日時：8月10日（日）17時30分～19時 場所：石嶺町民会館 内容：ミネコヤさんの上映会 日時：8月17日（日）14時～17時 場所：那覇市中央公民館 内容：eスポーツ&ポケモンカード 対象：スバコキッズ（石嶺小・城東小3名） 日時：8月20日（水）13時～17時 場所：スバコ（石嶺公民館） 内容：スバコでスマ&ポケ（ゲーム大会） 対象：スバコキッズ（石嶺小・城東小・43名・ボランティア2名） 日時：1月31日（土）13時～16時 場所：石嶺公民館（ホール） 内容：シーサー作り

	<p>対象：スバコキッズ（城東小・石嶺小・城北小・城西小・仲井間小・小祿小・金城中・首里中 58名 保護者 37名・講師 6名・組合事務局 2名・ボランティア 5名）</p> <p>日時：1月31日（土）16時～17時</p> <p>場所：スバコ（石嶺公民館） 内容：イベント振り返り・こども企画会議 対象：スバコキッズ（石嶺小・城東小 8名）</p>			
4 達成目標と達成度	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度（%）
	・校内学習の開催	・6回	・4回	・67%
	・校外学習の開催	・2回	・3回	・100%
	・地域交流イベントの開催（参加）	・2回	・4回	・100%
	・校内・校外学習の参加者	・1回あたり15人	・8人～58人	・53%～100%
<p>結果に至る理由、気づき、検証等</p> <p>・外国語学習では、当初は「6回」の開催を予定していたものが「4回」になってしまった。4回の中で緊張しながらも「褒める」ことや「ゲーム感覚」で取り組むことを通して楽しんでいる様子が見られた。しかし、私たちが思っている以上に勉強へのトラウマが強く「分からないもの」に向かっていくときの壁が高く一歩先へ進むことはできなかった。このことから、勉強に苦手意識がある子も楽しめるような学習環境を整えていきたい。</p> <p>・校外学習では、こどもたちの「絶対ここに参加したい」という意欲や「次なにがあるの?」「次ここ行ってみたい」という声・要望が高く「2回」を予定していたものを「3回」実施することができた。一方で、保護者がスバコの活動やイベントの内容を十分に把握できていなくて参加に対して不安を感じ、こどもが参加をためらうといったこともあった。その中で、こどもたちから「親に言って欲しい」と言われて保護者に直接連絡をして「目的・趣旨」を説明して、保護者やこどもたちの不安を払拭することができた。</p> <p>1回目の校外学習では、こどもたちの人数に対してボランティアの人数が足りなくて十分な見守り体制ができなかった反省点をふまえて、見守り隊の人数を増やして行ったところ、こどもたちが安心して伸び伸びと過ごすことができた。</p>				

	<p>・地域交流イベントについては、実施した内容の多くが「開催」ではなく「参加」となった。シーサー作りについては、当初は地域交流イベントとしての開催を予定していたが、協力していただいた壺屋陶器事業協同組合さんの意向により大人の参加が難しく、地域交流イベントとしての形式では実施できなかった。しかし、当日は参加していた保護者や見学に訪れた地域の大人との交流が生まれ、結果として子どもを中心とした地域との関わりの機会となった。</p> <p>・校内・校外学習の参加者は、普段のスバコでの活動で子どもたちと関わっているというのもあって関係性もできていたり、学校に行っていない子も体験活動に参加できていたことから、参加しやすい雰囲気を作れていた。</p> <p>保護者とコミュニケーションが取れてきたことで子どもたちが「参加していい？」と聞く前に保護者から「ぜひ参加させてください！」と言ってくれるようになった。</p>
5 事業の成果	<p>事業を実施したことで得られた結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に及ぼした影響</li> </ul> <p>①外や新しいことに関心を向ける「一歩」を踏み出せた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校になかなか行けず家からも出ることができない子が、スバコの体験活動には参加できるようになった。</li> <li>・スバコにハードルが高くてなかなか行くことができなかった子は、体験活動をきっかけに継続して通うことができています。</li> <li>・1 回目の校外学習で南城美術館に行った際に、スバコでは騒がしくちゃんと人の話を聞くことが苦手な子たちが、ミネコヤの内間さんが丁寧に絵の説明をしているのを真剣に聞いていた。</li> <li>・「この絵ってなにでつくってるの？」と直接質問をしていたり、「これ全部手作りなの!？」と描かれている作品に関心を向けていて、振り返りでも印象に残った作品の話子どもたち同士でしていた。</li> <li>・防災研修センターでは、スタッフの方の説明が子どもたちの興味がでるよう話し方でジェスチャーが上手く「石嶺は高台でみんなが避難してくる場所だけど、他の災害も起こるから安心ではないんだよ」といった説明を真剣に聞いてメッセージをちゃんと受け取っていた。</li> <li>・保護者から「サイレンの音や災害の状況が苦手なので手を握って欲しい」と言われていた子が、「大丈夫!」とあって火災の体験でも煙の中に自ら進んでいっている姿が見られた。</li> </ul>

・消火器で火を消す体験では、「できない」、「自分はいいよ」と緊張して参加拒否をしていた子もスタッフの方の面白い声かけのおかげで緊張が解け、楽しみながら消火体験にも取り組んでいた。

### ②こどもたちの「できたあ！」や「笑顔」があふれた

・石嶺地域には公園が少なくこどもたちが思いっきり遊ぶ機会もなかなかなくて、公民館では走ることもできない中、念願の体育館に行けて「増え鬼」から始まり、ドッチボールをしたりバスケ、バドミントン、逃走中といった「遊びのフルコース」をこどもたちは時間の許す限り遊んでいた。

・大人はクタクタな状態で公民館に帰ってきた時にこどもたちは「次いついく?」「次は6時間遊びたい」「泊まりたい」と正直大人たちはノックアウトされましたが、「次はなにをしようかな」と考えてしまうほど、生き生きして楽しそうにしているこどもたちの笑顔が見られた。

### ③知らない子にも興味を示すようになった

・3年生の時に県外から親の転勤で沖縄に来ている子で2回目の校外学習に参加する前では、「友達いない」と話していた。しかし、校外学習を通して一緒に参加している同学年の子とバスの中で「しりとりに」や「カメラで写真を撮ったり」体育館でもバドミントンをしたりして楽しく遊ぶ姿が見られた。

・今では一緒にスパコに来て帰る時も一緒に帰ったりと校外学習で生まれた関係性が継続している様子が見られている。

・ボーリング大会では、6年生の子がストライクを取った時に「イエーイ！」とみんなにハイタッチをしていたときに同じチームになった中学1年生の子とハイタッチしようと（相手も準備していた）していたけど、2回しか会ったことなくお互い踏み出せずできなかった。しかし、ボーリング大会の終盤でまた6年生の子がストライクをとった時にさっきはできなかった中学1年生の子と「イエーイ!!」とハイタッチすることができ、ボーリングが終わった後はお互いに肩を組んで「中学入ったらバスケやらないの?」と話をしたり、この3時間の間に仲がぎゅっと縮むことができていた。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携機関、協力者に及ぼした影響</li> <li>・今回の活動を通して、講師や地域団体、学生ボランティアなどが子どもたちと直接関わる機会が増えたことで、子どもたちの日常の様子や関わり方への理解が深まった。</li> <li>・特に体験活動や校外学習の場面では、子どもたちの主体的な行動や色々な変化を間近で見ることができたことから、「支援が必要な存在」というのではなくて、一人ひとりの個性や可能性目を向ける視点が広がった。</li> <li>・ボランティアや学生ボランティアの方にとっても、子どもたちの様子をみたり、見守りや関わりを経験していく中で実際に「今後も参加していきたい」といった声が聞かれるなど、継続的に関わろうとする意識の高まりが見られた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、コミュニティに及ぼした影響</li> <li>・子どもたちが地域のイベントや郊外での活動に参加する機会が増えたことで、地域の中で子どもたちの存在がより身近なものになった。</li> <li>・実際に、地域の方がボランティアとして校外学習にも参加してくれ、子どもたち自身が自分の可能性や「自分のやりたい事」を見つけるために色々な体験をしていくことの大切さをより理解してくれたと感じる。</li> <li>・活動の様子を通して、子どもたちが地域の中で挨拶や「ありがとうございます」と感謝を伝える姿が見られるなど、地域の一員として関わる経験を積むことができたことで、地域との距離を縮める一歩になった。</li> </ul>
6次年度以降の展開	<p>(ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開)</p> <p>次年度以降は、今の活動を継続的に行っていくことに加えて今回は私たち運営スタッフがイベント（校内学習・校外学習）の内容を考えましたが、子どもたちとイベントの振り返り・子ども企画会議を行った中で「これしたい!」「次は自然な所に行ってみたい」などという声が多くあったので、次は子どもたち自身が考えた内容を私たちがサポートしながら形にしていけたらと考えている。</p>

<p>7 実施した事業 全体への自己評 価とその理由</p>	<p>①自己評価(5段階評価) 当てはまるところに○をつけてください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>と と も 良 か っ た</th> <th>良 か っ た</th> <th>ま あ ま あ 良 か っ た</th> <th>少 し 良 か っ た</th> <th>全 く 良 く な か っ た</th> </tr> <tr> <th></th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課題設定は良かったか</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>2 解決策として良い手法だったか</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>3 自団体の実施体制は良かったか</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>4 他団体との協働体制は良かったか</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>5 対象者への周知は良かったか</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>②上記の結果となった理由について 課題設定と解決策については、こどもの居場所の活動を通して見えてきたこどもたちや家庭の課題、また日常の関わりの中から聞こえた実際の声に基づいて実施しており、こどもたちのニーズに沿ったものとなっていたと考える。しかし、様々な体験活動を実施していく中でこどもたちの見守り体制や安全面の中から、人手を増やす必要があるといった課題も出てきた。他団体との協働体制については、ミネコヤさんと公民館と繋がることのできたことで、地域イベントにも参加することができた。対象者への周知については、日常の関係性を基盤とした声かけにより一定の効果が見られたものの、一部の家庭には情報が十分に届いていない状況も確認されたため、今後は周知方法の改善が必要である。</p>		と と も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た		5	4	3	2	1	1 課題設定は良かったか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2 解決策として良い手法だったか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3 自団体の実施体制は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4 他団体との協働体制は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5 対象者への周知は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	と と も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た																																						
	5	4	3	2	1																																						
1 課題設定は良かったか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																						
2 解決策として良い手法だったか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																						
3 自団体の実施体制は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																						
4 他団体との協働体制は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																						
5 対象者への周知は良かったか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																						
<p>8 市への要望・ 欲しい支援等</p>	<p>なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談 ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ 等) 私たちは今回が初めての申請だったため、どう取り組んだらいいかわからなく事業説明会や個別相談あってとても助かりました。特に、事業計画書の書き方講座も今後も継続して開催していただきたいです。また、予算のつけ方講座のような予算に関する講座・相談会なども今後検討していただきたいです。</p>																																										